

(2) 世界ブランドや文化・スポーツを生かした地域づくりー2020年に向けてー

2,305百万円

2020年の東京オリパラなどに向けて、世界農業遺産やユネスコエコパークなどの地域資源を活用した世界ブランドのみやざきづくりを推進します。

また、国民文化祭や全国障害者芸術・文化祭、国民体育大会の本格的な準備や、みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクトの推進を通じて、文化・スポーツを生かした地域づくりに取り組みます。

① 世界ブランドのみやざきづくりの推進

1,399百万円

- ④地域資源ブランド強化促進事業 (9百万円)
- 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを活用した地域活性化の取組 (23百万円)
- 「水と緑の森林づくり」県民総参加推進事業 (48百万円)
- ④美しい「みやざきの水辺」を未来につなぐ啓発事業 (3百万円)
- 国立公園満喫プロジェクト (127百万円)
- ④「みやざきの自然公園」愛護活動推進事業 (2百万円)
- ④特用林産物等資源活用推進事業〈再掲〉 (2百万円)
- 「宮崎版DMO」確立事業 (87百万円)
- ④首都圏情報発信拠点機能強化事業 (15百万円)
- 世界農業遺産 (G I A H S) 地域力育成支援事業〈再掲〉 (26百万円)
- 「日本一」を世界に発信！宮崎牛・県産牛肉プロモーション対策 (31百万円)
- 美しい宮崎づくりの推進 (1,009百万円)
- ④ひなた文化資源発信事業～文化財で輝くふるさとづくり～ (2百万円)
- ④神楽のユネスコ無形文化遺産！県民応援事業 (10百万円)
- ④世界遺産を目指して！みやざきの古墳魅力向上事業 (4百万円)

② 文化・スポーツを生かした地域づくりの推進

906百万円

- ④牧水で発信する「宮崎発！文化の創造」事業 (2百万円)
- ④みやざき文化振興プラットフォーム構築推進事業 (3百万円)
- ④国民文化祭開催準備事業 (31百万円)
- ④全国障害者芸術・文化祭開催準備事業 (10百万円)
- 東京オリパラ開会式・文化プログラム等対策事業 (7百万円)
- ④「みやざきの文化」発信事業 (5百万円)
- ④障がい者スポーツ育成強化支援事業 (5百万円)
- ④宿泊施設アクセシビリティ推進事業 (26百万円)
- ④東京オリパラレガシー活用事業 (10百万円)

- ㊦ 「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくり推進事業 (64百万円)
- スポーツランドみやざき誘客促進事業 (35百万円)
- ㊦ 交通機関等と連携した国内誘客対策強化事業 (20百万円)
- ㊦ 海外市場誘客促進PR事業 (8百万円)
- ㊦ 東京オリパラ等合宿・大会誘致受入推進事業 (187百万円)
- ㊦ 宮崎の豊かな未来をつくる芸術教育総合支援事業 (2百万円)
- 県立学校を拠点とした芸術文化体験プログラム事業 (4百万円)
- ㊦ みやざき心のバリアフリー推進事業 (5百万円)
- 国民体育大会の開催に向けた取組 (476百万円)
- ㊦ スポーツで人が輝く元気な宮崎に！スポーツ習慣化促進事業 (5百万円)

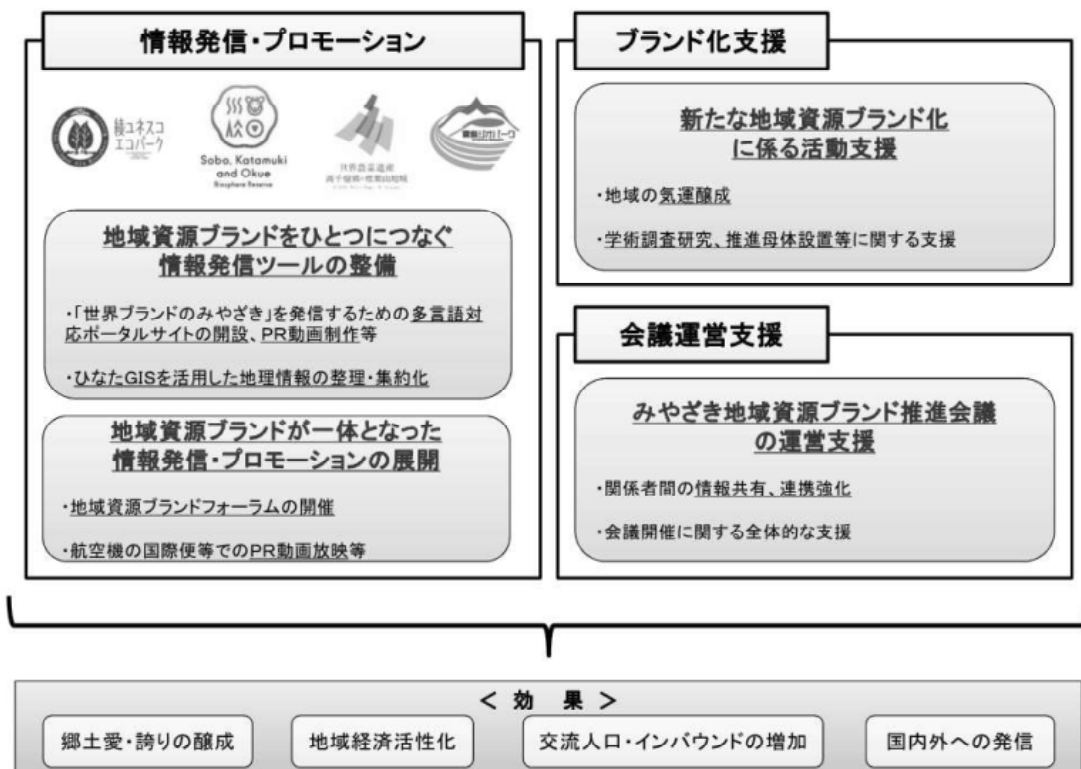
① 世界ブランドのみやざきづくりの推進

⑧ 地域資源ブランド強化促進事業（中山間・地域政策課）

9百万円

全県的な宝である県内各地の地域資源ブランドについて、関係機関相互の情報共有を図り、各ブランドが一体となった情報発信や多角的なブランド活用策を展開することにより、交流人口やインバウンドの増加に対応できる体制を構築し、本県の特色や独自性、優位性を最大限に生かした「世界ブランドのみやざきづくり」を進める。

- (1) 「世界ブランドのみやざき」情報発信
 - ・県内の地域資源ブランドをつないだ情報発信ツールの整備、プロモーションの展開等
 - ・ひなたGISを活用した地理情報の整理・集約化
- (2) 地域資源ブランド化活動支援
 - 新たなブランド化を目指す地域へのフォローアップ等
- (3) 「みやざき地域資源ブランド推進会議」の運営支援



◎祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを活用した地域活性化の取組

(中山間・地域政策課) 23百万円

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会を中心に、関係機関や住民・団体等と連携しながら、ユネスコエコパークを活用した取組を推進し、地域の活性化を図る。

㊦祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク受入基盤整備支援事業

15百万円

県内外からの誘客促進のために本県の市・町（延岡市、高千穂町、日之影町）が実施する受入基盤の整備（ハード事業）を支援し、ユネスコエコパークに対する県民の親しみを深めるとともに、交流人口の増加による一層の地域振興を図る。

・実施主体 市町村（補助率 1/2）

【補助金による支援メニュー】

- ・眺望の良い箇所への案内看板の整備（ビュースポット化）
- ・道の駅等における情報発信（動画配信等）スペースの整備
- ・既存施設の拠点施設（情報集約・発信機能、研究機能、交流機能等を備えた施設）化に向けた整備 ほか



祖母山を望む五ヶ所高原



比叡山（右）と矢筈岳

○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク活用促進事業

8百万円

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを生かした自然環境保全や国内外への情報発信等の取組を推進し、貴重な地域資源の次世代への確実な継承や地域への誘客促進を図る。

- (1) 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会を通じた取組の推進
推進協議会に対して負担金を支出し、主体的な運営を通じて各種取組を推進
- (2) 本県エリアへの誘客の促進（ソフト事業）
観光関係者のモニターツアー、都市部での魅力発信、周遊マップの作成などを実施

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの取組と主な実施主体

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

構成：宮崎県、大分県、関係4市・2町、国（林野庁）、学識経験者、住民代表等

- ・自然環境調査（学術調査）への支援
- ・ユネスコエコパークの情報発信・広報
- ・登山者に向けたマナー啓発
- ・住民・団体のネットワーク化
- ・ホームページ、パンフレット制作
- ・関係機関合同のシンポジウムの開催
- ・次世代育成に向けた体験学習事業
- など

県

- ・本県の市・町が行う受入基盤整備への支援
- ・本県エリアへの誘客促進
- ・むかばき青少年自然の家での自然体験活動
- ・九州自然歩道(高千穂コース)の整備

市・町

- ・各市・町エリアにおける普及・啓発、情報発信等の推進
- ・受入環境・基盤の整備(ガイドの養成、案内板の設置、拠点施設の整備等)
- ・住民・団体の活動への支援

住民・団体

- ・自然保護等の取組を各地域で実施

○「水と緑の森林づくり」県民総参加推進事業

(環境森林課 みやざきの森林づくり推進室) 48百万円

「宮崎県水と緑の森林づくり条例」に定める県民等の主体的な参画による森林づくりを推進するため、企業や森林ボランティア団体等多様な主体による森林づくり活動への支援や森林づくりに関する普及啓発等を行い、県民みんなで県民共有の財産である森林を次世代に引き継ぐ機運の醸成を図る。

- (1) 森林づくり活動支援事業
公募型及び海岸松林型森林づくり活動への支援
・事業主体 各種団体(補助率 1/2～10/10)
- (2) 県民1人1本みんなで植樹推進事業
 - ① メモリーツリー等の植樹イベント
 - ② 森林ボランティア団体等が実施する植樹活動に必要な苗木の提供
 - ③ 苗木の養成研修の実施
- (3) 「みやざき森づくりコミッション」活動強化事業
 - ① 森林づくり活動の相談窓口の設置
 - ② 企業等の森づくりの誘致活動、パンフレットの作成
 - ③ みやざき森づくりボランティア協議会の活動支援
- (4) 県民参加の森林づくり普及啓発推進事業
 - ① 森林の役割等や森林づくりに関する普及啓発
 - ② 森林づくり県民ボランティアの集いの開催

◎美しい「みやざきの水辺」を未来につなぐ啓発事業(環境管理課) 3百万円

美しい「みやざきの水辺」を次世代に引き継いでいくため、水環境の重要性を広く県民に周知することにより、水環境保全活動への意識を醸成し、実践活動につなげていく。

- (1) 水環境保全の啓発
 - ① 市町村主催のイベント等において、生活排水の汚濁度を測定する体験教室を開催
 - ② 家庭での実践活動に役立つエコ用品等の配布
- (2) 水辺環境調査等の普及拡大
 - ① 小中学生を対象に、これまで行ってきた「水辺環境調査」及びこの調査に座学を加えた「水辺の学習」を実施
 - ② 学校教諭を対象にした指導者育成研修を行うとともに、教材用のDVDを作成
- (3) 親しめる水辺環境情報の発信
 - ① ホームページ「ふるさとの水辺」を活用し、国、県、市町村、NPO等が実施する水辺体験イベント等を発信
 - ② 水辺環境調査において小中学生が作成した成果パネルの展示会を各地で開催

◎国立公園満喫プロジェクト（自然環境課 自然公園室） 127百万円

「国立公園満喫プロジェクト」に選定された霧島錦江湾国立公園において、「ステップアッププログラム2020」に基づき、利用施設の整備など訪日外国人旅行者等を惹きつける取組を計画的、集中的に実施することにより、外国人を含めた利用者の増加や国立公園を活用した地域の活性化を図る。

◎国立公園インバウンド受入対策推進強化事業 4百万円

- (1) 国立公園おもてなし強化事業
- ・おもてなし店舗、地元ガイド等を対象とした講習会の開催
 - ・外国人おもてなし店舗等としての認定
 - ・おもてなし店舗等でのサービス提供体制の充実（多言語メニュー等）
- (2) 国立公園魅力発信事業
- ・ビューポイントの県管理登山道や池めぐりコース等を活用したアクティビティのPR動画の作成
 - ・SNS等を活用した国立公園の情報発信
 - ・山の日におけるアクティビティ体験等のイベント開催
- (3) 主要な駅等からの二次アクセス充実のため周遊バス等の実証運行への支援
- ・実施主体 市町（補助率 1/2以内）

○国立公園整備事業 83百万円

県が行う国立公園内利用施設（遊歩道、休憩所など）の老朽化や国際化に対応した整備

○国立公園整備支援事業 40百万円

市町村が行う国立公園内利用施設の老朽化や国際化に対応した整備への支援

- ・実施主体 市町（補助率 1/2以内）

霧島錦江湾国立公園 満喫プロジェクト

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾
 ～ まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食 ～

（霧島地域の取組）

<p>取組方針①</p> <p>多様な火山地形等の景観を活かした上質な宿泊施設の誘致、魅力的なアクティビティの開発</p>	<p>取組方針②</p> <p>神話や史跡、伝統文化、食等の地域資源と自然体験との組み合わせによる多様なニーズに対応できるツアーの開発</p>	<p>取組方針③</p> <p>既存のガイド団体の取組を活かした地元ガイドの育成・充実、主要交通拠点からの二次アクセスの充実の検討</p>
<p>位置図</p>	<p>A 霧島地域のビューポイント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①えびの高原・白鳥温泉 ②夷守台・生駒高原 ③御池・高千穂峰 ④高千穂河原エリア ⑤栗野岳</p> </div>	<p>〈事業内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○滞在しやすい環境整備 国立公園内利用施設の老朽化や国際化に対応した施設整備等 ○魅力の創出 ガイドの育成と国立公園をフィールドとしたツアープログラムの開発等
<p>二湖パノラマ展望台から望む韓岳</p>	<p>秋の生駒高原</p>	<p>御池から望む高千穂峰</p>

㊦「みやざきの自然公園」愛護活動推進事業（自然環境課 自然公園室） 2百万円

地域住民等が行う公園清掃・草刈りなどの公園美化活動や自然愛護活動を支援することにより、県民との協働による自然公園の維持管理を図り、自然公園を活用した「美しい宮崎づくり」を推進するとともに、地域住民の連帯意識の醸成などによる地域の活性化を図る。

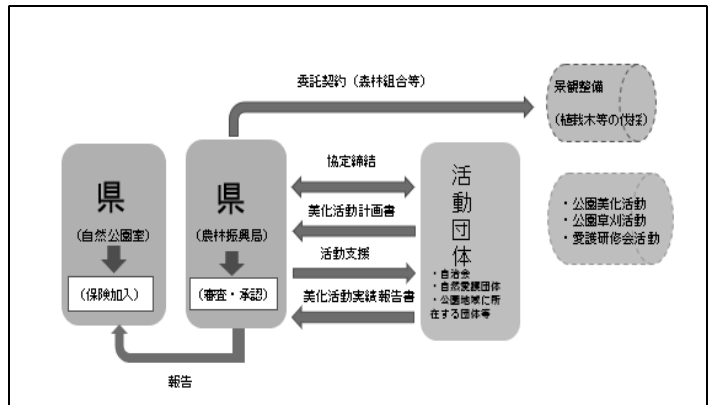
(1) グリーンパーク推進事業

自然公園内で地域住民の団体が行う清掃や草刈り活動に対して、必要な苗木や資材等を提供するとともに、研修会を実施

(2) 自然公園利用環境整備事業

景観の支障となる植栽木等の伐採を実施

～地域の観光資源の掘り起こしと磨き上げ～



(贄波園地)



(金ヶ浜園地)

㊦「特用林産物等資源活用推進事業（山村・木材振興課）〈再掲〉 2百万円

県産備長炭の生産技術向上や原木の安定供給に向けた取組を支援するとともに、竹、山菜などの地域資源を活用した商品づくり・販路開拓の取組を支援することによって、山村地域の所得向上と活性化を図る。

(1) 日向備長炭生産振興支援事業

県産備長炭の生産技術向上や原木の安定供給に向けた取組への支援

- ・実施主体 宮崎県産備長炭振興対策協議会（補助率 1 / 2 以内）

(2) 地域資源活用推進事業

竹、山菜などの地域資源を活用した商品づくり・販路開拓への支援

- ・実施主体 市町村、生産者団体等（補助率 1 / 2 以内）

○「宮崎版DMO」確立事業（観光推進課）

87百万円

持続可能な観光地域づくりの実現を目指し、日本版DMOの候補法人である「みやざき観光コンベンション協会」を中心に、その基盤となる人材育成、マーケティング機能、着地型商品企画機能の強化等に取り組む。

(1) 明日の宮崎観光を支える人財づくり事業

地域の観光振興をリードする人材を育成するため、「観光みやざき創生塾」を運営するとともに、マーケティング機能の強化を図るための専門人材を配置

(2) 観光地域づくり推進事業

専門人材を中心に、多様な関係者を巻き込みながら、各地にある着地型観光素材を地域毎に結びつけ、新たな着地型観光商品を造成

(3) 稼ぐみやざき観光推進事業

① マーケティング分析に必要なデータ収集のための環境整備

② 大都市圏における民間事業者等と連携したPR

㊦首都圏情報発信拠点機能強化事業（オールみやざき営業課）

15百万円

東京オリンピック・パラリンピック開催などによる首都圏の活力を宮崎に取り込み、本県経済の活性化に繋げるため、リニューアルにより機能強化された新宿みやざき館KONNEを核に、食をはじめとする宮崎の多彩な魅力を発信し、本県の認知度向上や需要・販路拡大を図る。

(1) 宮崎の総合的な魅力発信対策

新宿みやざき館KONNEの各種機能を活用したイベント・フェアの開催による、本県の食や物産、観光等の総合的な魅力の発信

(2) 焼酎を切り口とした需要・販路拡大対策

新宿みやざき館KONNEにおける焼酎を切り口とした食や物産等と合わせた魅力の発信、及び大都市圏の飲食店等でのフェア開催や見本市出展などによる、焼酎等の認知度向上、需要・販路の拡大



リニューアル後のKONNEの外観イメージ

○世界農業遺産（GIAHS）地域力育成支援事業（農政企画課 新農業戦略室）

〈再掲〉 26百万円

世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域において、地域の自主的な活動や「聞き書き(注)」による若者の育成、国内外のGIAHSサイトと連携した世界農業遺産のPR活動等に対する支援を行うことにより更なる地域活性化を図る。

(注)話し手と聞き手が対話を重ね、語り手の経験や思いの言葉を話し言葉で文章にまとめる手法

(1) GIAHS活用事業

世界農業遺産を活用した地域活性化の取組を支援

・実施主体 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会（補助率 1／2以内）

(2) GIAHS人材育成事業

世界農業遺産認定地域の人材育成のための活動支援

・実施主体 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会（補助率 1／2以内）

(3) GIAHS連携事業

国内外のGIAHSサイト等と連携した活動支援

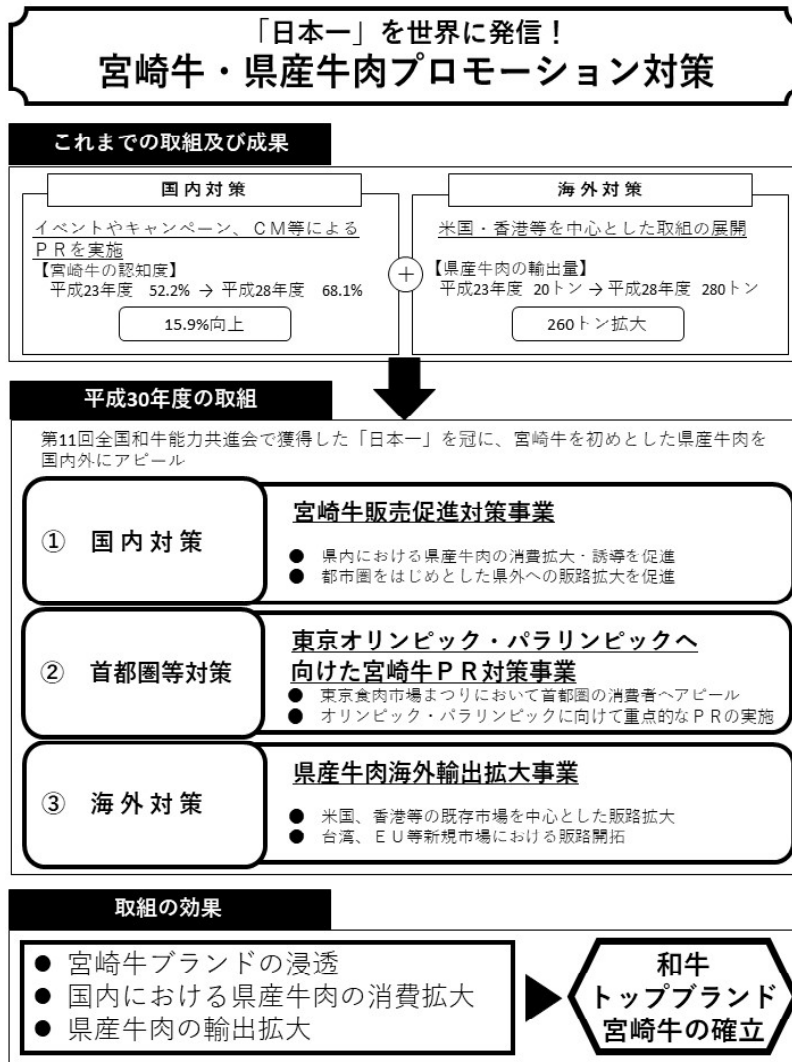
◎「日本一」を世界に発信！宮崎牛・県産牛肉プロモーション対策（畜産振興課）
31百万円

第11回全国和牛能力共進会で獲得した「日本一」を冠に、国内、首都圏、海外等、それぞれにおいて宮崎牛をはじめとした県産牛肉のプロモーション活動を展開し、宮崎牛ブランドの確立を図る。

㊤宮崎牛販売促進対策事業 12百万円
県産牛肉販売戦略に基づき、県内及び県外でのターゲットを絞ったPR活動を展開し、宮崎牛・県産牛肉のブランド力向上を図る。

㊦東京オリンピック・パラリンピックへ向けた宮崎牛PR対策事業 12百万円
平成30年10月に開催される「東京食肉市場まつり」に協賛県として参画し、首都圏等の消費者、卸売業者等に対する宮崎牛の重点的なプロモーションを行うことにより、更なるブランド力の強化を図る。

㊧県産牛肉海外輸出拡大事業 8百万円
既に輸出を行っている国において販路拡大の取組を支援するとともに、これまで輸出が行われていない国等においても新たな販路開拓を行うことにより、県産牛肉の更なる輸出拡大を図る。



◎美しい宮崎づくりの推進

1, 009百万円

㊤美しい宮崎づくり推進事業（都市計画課）

20百万円

美しい宮崎づくり推進条例に基づき、各種施策を総合的かつ計画的に推進するため、県民、事業者に対する普及啓発及び人材育成を行うとともに、県民、事業者が取り組む景観形成活動への支援を市町村とともに行うことにより、官民協働による美しい宮崎づくりを推進する。

- (1) 景観計画の策定支援
市町村が景観計画を策定する経費の一部を助成（補助率 1/3又は1/4以内）
- (2) 景観形成活動の支援
市町村が各種団体の景観形成活動を支援する経費の一部を助成（補助率 1/2又は1/3以内）、景観まちづくりアドバイザーの派遣
- (3) 普及啓発活動の推進
講演会や活動団体間の連携を促進するための交流会等の開催

【景観形成活動の支援イメージ】



視点場の整備



景観に配慮した案内板の整備



担い手の育成

○沿道修景美化推進対策事業（道路保全課）

886百万円

全国に先駆け昭和44年に制定した「沿道修景美化条例」に基づき、主要な国県道において、宮崎らしい「うるおい」と「やすらぎ」のある沿道環境の保全に努めるとともに、地域ごとの個性を生かした「美しい宮崎づくり」を推進するため、県民や企業等との協働による沿道修景美化のさらなる展開を図る。

- (1) 沿道環境の保全
沿道における樹木の維持管理や草花の植栽、県木フェニックスの害虫対策等を実施
- (2) 官民協働による沿道修景美化の推進
各地域に沿道植栽のリニューアル等に関して、専門家や地域住民等と意見交換を行うワーキンググループを設置するとともに、沿道修景アドバイザー制度の構築により、県民等が行う修景活動に対して技術的な助言や支援を実施



県民や事業者等との協働の例



眺望景観の改善の例

㊦「美しい宮崎の道」愛護活動推進事業（道路保全課） 9百万円

地域の企業・団体自らが道路緑地帯等の維持管理を行うアダプト制度の導入や地域住民等が行う道路清掃・草刈りなどの道路美化活動の支援により、「美しい宮崎づくり」に向けた気運の醸成や官民協働による道路環境保全活動の推進、道路愛護意識の普及啓発及び地域の活性化を図る。

- (1) アダプトロード普及啓発事業
 - ① 地域の企業や団体が道路の緑地帯等を自らデザイン・管理するための環境整備
 - ② サインボード（アダプト看板）の設置によるアダプト活動の紹介・PR
- (2) クリーンロードみやざき推進事業
 - ① 道路美化活動に対する清掃用具、花の苗等の支給
 - ② 道路草刈り活動に対する報奨金の交付
 - ③ 協定締結団体が行う研修会、植栽講習会に対する講師の派遣
- (3) 道路愛護運動推進事業
 - ① 道路ふれあい月間・道路愛護デー等における清掃活動、啓発イベントの実施
 - ② 道路愛護功績者表彰の実施

○河川パートナーシップ事業（河川課） 55百万円

自治会等が行う堤防の草刈りや管理用通路の簡易な路面補修への支援、民間企業を対象としたアダプト制度の実施により、官民協働による河川管理の一層の推進を図る。

- (1) 自治会等が実施する一定規模以上の堤防の草刈り、管理用通路の簡易な路面補修（穴ぼこ補修）に対し、実施面積、回数に応じて報奨金を交付
- (2) 堤防等の一部の区域において、公募により、民間企業に継続的な清掃・美化活動をお願いする取組（アダプト制度）を実施



草刈り活動



アダプト制度（サインボード）

○美しい宮崎の港づくり！プレジャーボート適正管理強化事業（港湾課） 29百万円

港湾等におけるプレジャーボートの不法係留への指導強化や沈廃船処分の推進により、公共用水域等の利用の適正化を図るとともに、県民共有の財産である宮崎の景観を守る「美しい港づくり」を目指す。

- (1) プレジャーボート調査員の研修等の実施
- (2) 不法係留者対策の強化等
- (3) 沈廃船処分の推進
- (4) 係留保管場所の確保及び環境整備

㊦地域資源ブランド強化促進事業（中山間・地域政策課）〈再掲〉 9百万円

全県的な宝である県内各地の地域資源ブランドについて、関係機関相互の情報共有を図り、各ブランドが一体となった情報発信や多角的なブランド活用策を展開することにより、交流人口やインバウンドの増加に対応できる体制を構築し、本県の特徴や独自性、優位性を最大限に生かした「世界ブランドのみやざきづくり」を進める。

- (1) 「世界ブランドのみやざき」情報発信
- (2) 地域資源ブランド化活動支援
- (3) 「みやざき地域資源ブランド推進会議」の運営支援

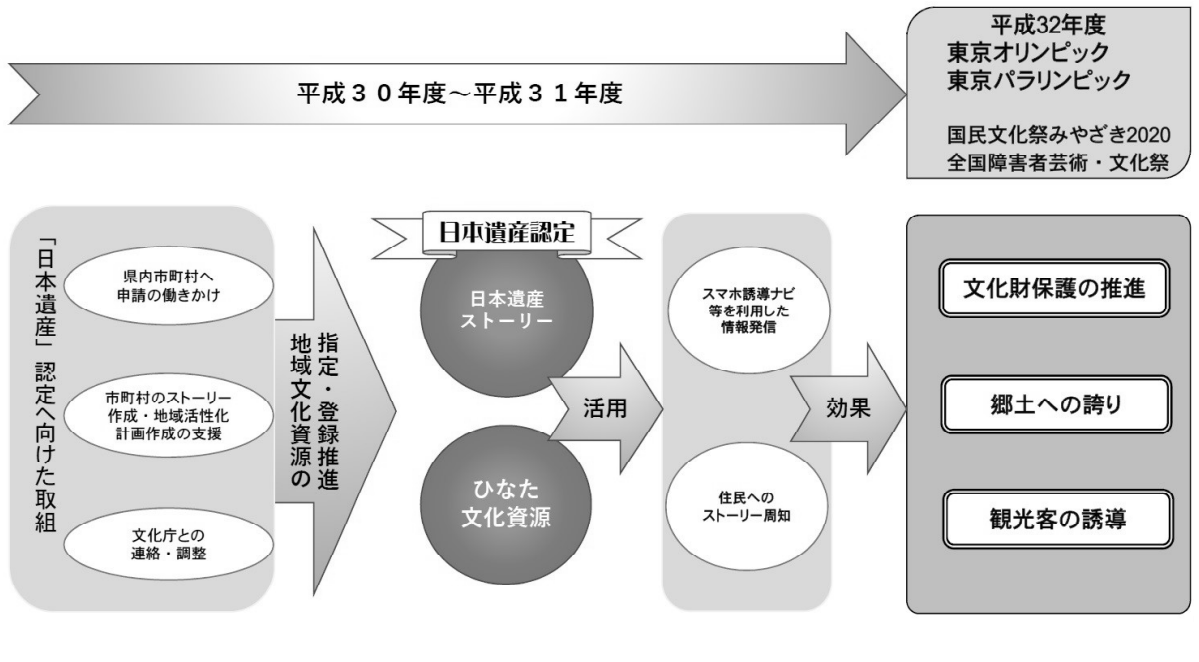
＜美しい宮崎づくり重点施策関連事業（P138）参照＞

㊦ ひなた文化資源発信事業～文化財で輝くふるさとづくり～（文化財課） 2百万円

「ひなた文化資源創出事業」で取り組んだ文化財保存及び活用に向けた市町村等との連携体制を継続し、「日本遺産」認定を目指す。

また、地域に埋もれた文化資源について、文化財保護法に基づいた指定・登録による保護や、情報発信を強化することで、文化財を活用した地域振興を推進する。

- (1) 「日本遺産」認定へ向けた取組
 - ① 市町村への日本遺産申請の働きかけ
 - ② 申請に向けた市町村へのストーリー・地域活性化計画作成の支援
 - ③ 文化庁との調整・連絡
- (2) 地域文化資源の保存と活用に向けた価値付け
ストーリー作成で掘り起こされた文化財等の指定・登録の推進
- (3) 文化財情報の発信による文化財保存・活用の推進
 - ① スマートフォンやホームページによる情報発信
 - ② 地域住民等を対象としたストーリー普及説明会の実施



㊦ 神楽のユネスコ無形文化遺産！ 県民応援事業（文化財課）

10百万円

神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指して、調査研究や映像記録、情報発信を行うとともに、県外の国指定神楽保存団体との連携を進める。また、神楽公演や県民講座を開催し、県民が神楽を応援するための気運の醸成を図る。

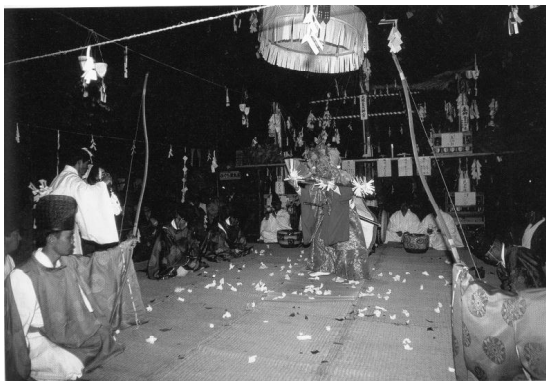
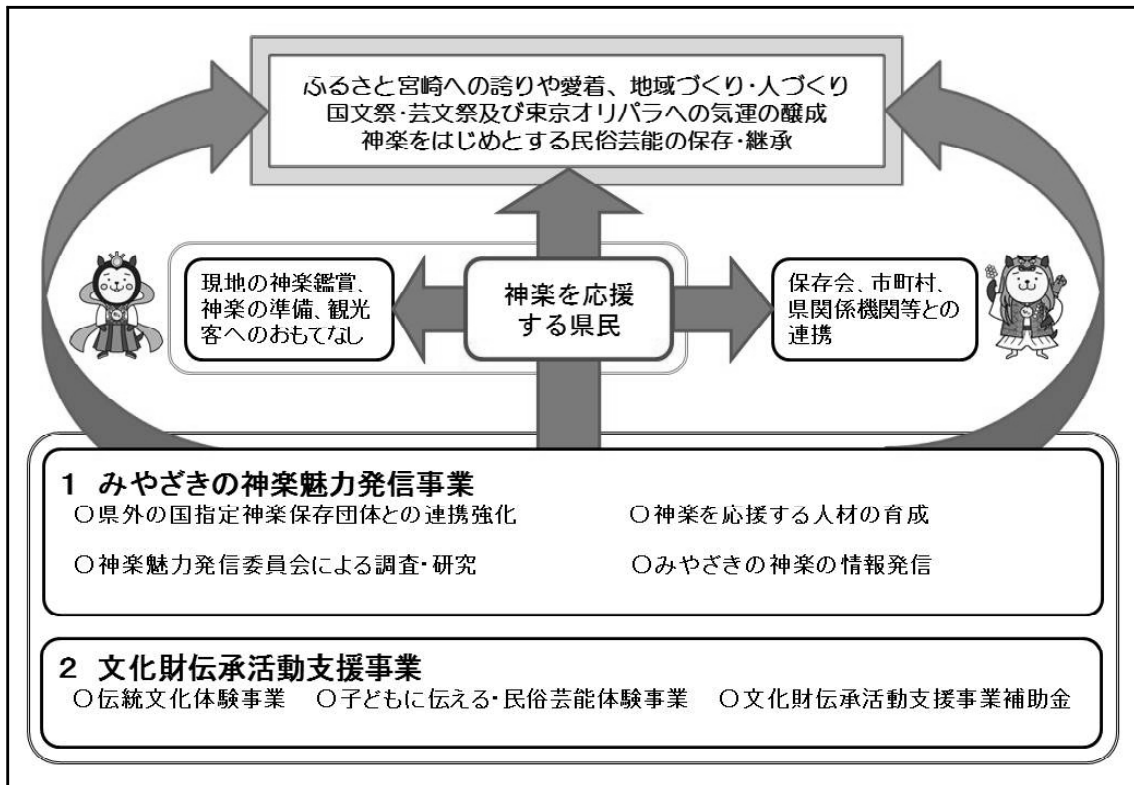
さらに、県内の民俗芸能の保存・継承のため、体験事業や継承者の育成・支援を行う。

(1) みやざきの神楽魅力発信事業

- ① 有識者で構成する神楽魅力発信委員会による調査・研究
- ② 県外の国指定神楽保存団体との連携強化
- ③ 神楽を応援する人材を育成するための神楽の公演や講座の開催
- ④ 神楽の映像をホームページに公開し、県内外に本県の神楽の魅力を発信

(2) 文化財伝承活動支援事業

- ① 民俗芸能保存団体等が行う継承者の育成や用具整備等を支援
・実施主体 民俗芸能保存団体、文化財愛護少年団等（補助率 1 / 2 以内）
- ② 文化財愛護少年団の交流活動への支援や民家園を活用した民俗文化体験事業を実施



銀鏡神楽



椎葉（梶尾）神楽

㊦ 世界遺産を目指して！みやざきの古墳魅力向上事業（文化財課） 4百万円

平成27年度から実施してきた世界遺産調査研究事業を基に、古墳群の歴史的景観や墓制の独自性を評価する取組を進める。

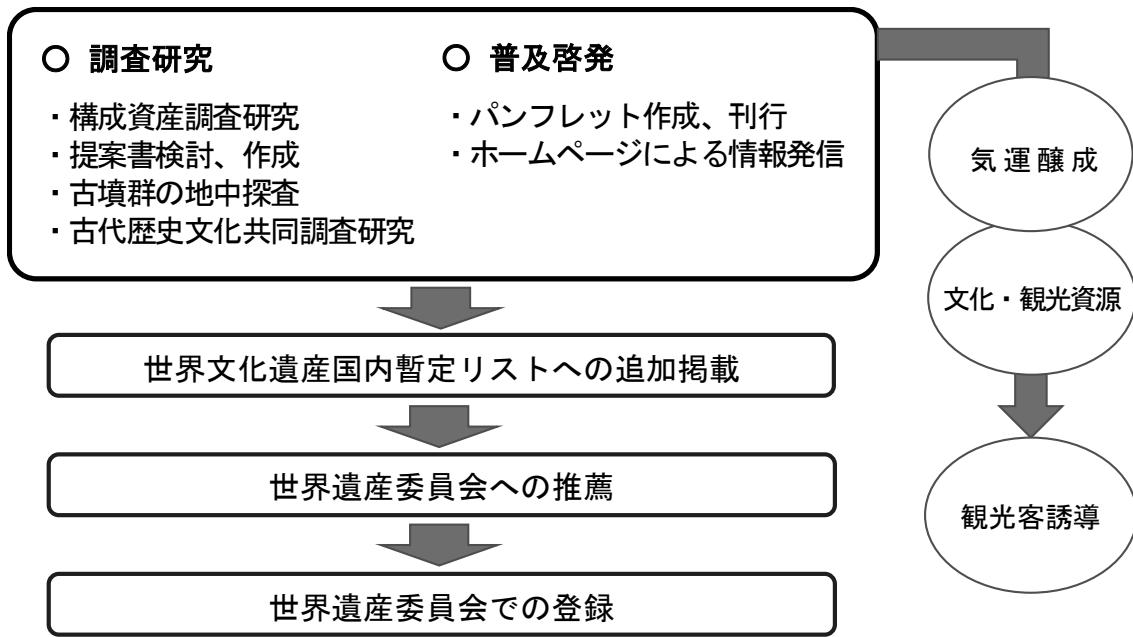
また、世界文化遺産登録に向けての取組や宮崎の古墳群への理解を広く県民に深めるため、調査研究に加え、普及啓発活動を新たに実施する。

(1) 調査研究事業

- ① 構成資産調査研究
(文化庁・他候補遺産などの動向調査・情報収集、提案書の検討・作成)
- ② 西都原古墳群の地中レーダー探査
- ③ 全国14県連携による古代歴史文化共同調査研究

(2) 普及啓発事業

- ① みやざきの古墳群パンフレットの作成
- ② みやざきの古墳文化ホームページによる情報発信



西都原古墳群（姫塚）



西都原古墳群（第1古墳群）